

News Release

報道資料

2016年9月1日

認知症介護研究・研修センター企画・監修

認知症介護基礎研修カリキュラム準拠「認知症の人の理解と対応の基本」 eラーニング研修の受講促進に取組みます。

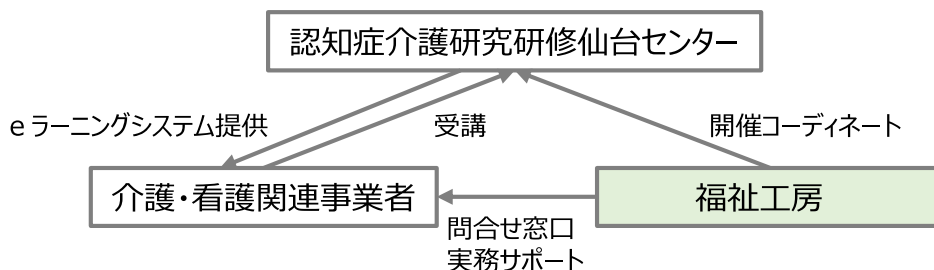
社会福祉法人東北福祉会 認知症介護研究・研修仙台センター は、認知症介護基礎研修カリキュラム準拠「認知症の人の理解と対応の基本」のeラーニング研修を開始しました。株式会社福祉工房（本社：宮城県仙台市 代表取締役：深谷敏行）は、広く介護サービス従事者等への受講促進を図る目的で研修の広報及び受講コーディネートを開始しますので、お知らせいたします。

先に改正された厚生労働省老健局長通知「認知症介護実践者等養成事業の実施について」において、「認知症介護基礎研修」が新設されました。当研修は、“あらゆる介護保険サービス施設・事業所等の職員が認知症介護の基礎的知識を有すること”を目的に、2016年4月より全国自治体において開始されています。現状は集合研修が主体となっており、受講場所や時間、受講できる人数に限りがありますが、9月より提供が開始される民間事業者向けのeラーニング研修により、多くの介護サービス従事者の方の受講が期待されています。

【実施構造】

受講を希望される事業者単位で、認知症介護基礎研修カリキュラム準拠「認知症の人の理解と対応の基本」（集合研修180分の内容）のeラーニング研修を提供いたします。インターネット環境がある事業所内もしくは在宅で、任意の時間に受講することが出来ます。受講者IDの管理やネット上での履修確認テストなど、受講の進捗や理解度を確認する仕組みを導入しています。またeラーニング研修修了者には、認知症介護研究研修・仙台センターの受講証明書が発行されます。

当社では、受講を検討される事業者の窓口として、関連する問合せへの対応、受講までの各種調整や受講終了までの実務サポートを行います。



※認知症介護研究・研修仙台センター（運営法人：社会福祉法人東北福祉会）と株式会社福祉工房は、学校法人栴檀学園 東北福祉大学 の関連法人です。

【認知症介護基礎研修の概要】

本研修は、2015年策定の「新オレンジプラン」に基づき創設されたもので、症状やケアの基礎的な知識や技術などを身に付けることを目的に、「認知症介護研究・研修センター」で開発されました。認知症介護に携わる新任の介護職員らが主な対象で、カリキュラムは「認知症の人の理解と対応の基本」と「認知症ケアの実践上の留意点」の2科目で構成されています。

研修時間は全6時間ですが、うち3時間分の「認知症の人の理解と対応の基本」については、eラーニングでの受講ができます。eラーニング受講に関する詳細については、弊社窓口までお問合せ下さい。

研修方法	内容
集合研修（180分） または eラーニング	【認知症の人の理解と対応の基本】 序章：認知症を取り巻く現状 Ⅰ：認知症の定義と原因疾患 Ⅱ：認知症の中核症状と行動・心理症状の理解 Ⅲ：認知症ケアにおいて基礎となる理念や考え方 Ⅳ：認知症ケアの基礎技術
集合研修（180分）	【認知症ケアの実践上の留意点】 Ⅰ：認知症の人とのコミュニケーション Ⅱ：行動の背景を理解したケアの工夫 Ⅲ：自事業所の現状や自身のこれまでの振り返り

【問合せ先】

株式会社 福祉工房
〒981-0943宮城県仙台市青葉区国見1丁目19-6
電話022-727-8839 FAX022-727-8825
担当：大内 陽水
URL：http://www.f-kobo.co.jp